

オリジナルブランドを作る

流行りの人気商品も、似たような商品がたくさん販売されている状況では、ほかと同じやり方では売れません。「他商品との違いは何か」、**差別化を明確に打ち出すことで消費者の購買意欲を喚起することができる**のです。

品種改良が進み、次々と新しい品種が生まれている「イチゴ」の世界も同様です。牧之原市の「イチゴイチエ石神農園」さんは、静岡でもっとも多く栽培されている「紅ほっぺ」を栽培する生産者。代表の石神誠さんの相談内容は、粒が一律でなかったり傷ができていたりして市場に出荷できないイチゴの活用方法についてでした。

しかし、私は県内生産イチゴの8割を超える品種である紅ほっぺをつくっている農家さんが、どんな販売方法をとっているか、そこに何かヒントが隠されている気がして聞いてみました。すると、8割を農協に卸し、2割が直販であり、直販の中には、県を代表する百貨店、松坂屋での取り扱いがあるという。しかも、「イチゴイチエ石神農園の紅ほっぺ」と生産者名を出して販売されているとのこと



小出センター長(左)に相談する石神代表(右)

[当サービスのご利用について] 静岡新聞データベースplus日経テレコンは、インターネットを通じて提供する有料・会員制のサービスです。サービスご利用には、契約お申し込みが必要です。[利用料金] サービスご利用には、ご契約の当初料金、月額基本料金のほかご契約プランによっては、検索・出力した利用に応じた情報利用料金がかかります。

第8回 innovation for success

f-Biz式 情報活用術

起業や新規ビジネス支援で数々の成果を上げてきた富士市産業支援センター f-Biz。起業家の創出と地域産業の活性化を目指し、情報収集と分析で活用してきたツールは、**新聞記事データベース「日経テレコン」**でした。f-Bizセンター長で、データベースを長年用いてきた小出宗昭氏が情報活性化を解き明かします。

イチゴイチエ石神農園

～差別化で売上向上～



でした。これは、**プロのバイヤーが認めたという証です。これは大きなセールスポイントになる。**

そう予測した私は、石神さんの紅ほっぺにしかない強みを明確化し、より価値の高いオリジナルブランドとして売り出すことを提案しました。

オリジナリティのあるネーミングとは

ブランディングには、魅力的なネーミングとイメージ戦略が欠かせません。すでにヒットしているイチゴブランドにはどんなものがあるか、データベースを使って調べました。すると、「とちおとめ」「あまおう」が二大巨頭で、近年は「スカイベリー」「アスカベリー」など新品种も続々登場しており、いずれも味の特徴や土地柄をうまく表現した名前がヒットしていることがわかりました。また、どれも農協や行政主導で開発しており、生産者個人のブランド商品は見当たりません。

石神農園の**オリジナリティを明確に打ち出すネーミングで必ずや成功する**。そう確信したのです。

牧之原発の ブランドイチゴ誕生

商品の特性を際立たせるため、石神さんの紅ほっぺの特徴をヒアリングする中で、ポイントを2点絞りました。

第一に「甘みも酸味も色味も“濃い”ということ。第二に、サーフィンのメッカである**静波海岸のすぐそばで栽培している**ということ。何度かのやりとりの後、完成した名前は、「恋い味、紅ほっぺ。静波レッド」。

その結果、東京上野の松坂屋など首都圏からの引き合いもあり、数ヶ月で売上げ5倍アップ。当初の課題だった冷凍イチゴの出荷量も爆発的に伸び、相談を受けた2011年は年間200キロだったものが、2014年には20倍の4000キロの見込みとのこと。**ブランディング力の勝利といえます。**



完成したロゴ



■筆者紹介

小出宗昭氏(こいで・むねあき)

83年静岡銀行入行。出向を通じ「企業支援」の可能性に目覚める。05年経済産業大臣表彰受賞。08年銀行を退職し独立、富士市産業支援センター fBizセンター長に就任。1,000件以上の新規ビジネス立ち上げを支援している。静岡新聞読者と報道委員会委員。

■イチゴ農家のこだわりを全国へ発信

イチゴの販路を何とか広げられないかと小出さんに相談したところ、「売れる商品を作るためにはまず、ブランディングが必要だ」とアドバイスされました。

「静波レッド」は、しっかりとした果肉と甘みと酸味の程よいバランスが特徴です。その生産者のこだわり、コンセプトをネーミングとロゴマークで表現してもらい、効果的にPRしたことで、かなりの反響がありました。今は次の目標に向かってやる気を増しています。



イチゴイチエ石神農園 石神誠代表

【ご案内】静岡新聞データベースplus日経テレコン

静岡新聞と日本経済新聞各紙の記事をパソコンなどで検索できる情報サービス。企業・自治体・図書館・大学・学校の5つのタイプがあります。特に企業タイプは、業務に必要で見逃さない記事を自動で抽出する「クリッピング」など便利な機能があります。

地元密着の静岡新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

静岡新聞データベース plus 日経テレコン

■お問い合わせ 静岡新聞社 総合メディア局 TEL 054-284-9187(平日 9:00~18:00)

静岡新聞データベース 日経

検索

http://www3.shizushin.com/dbplus/



静岡新聞

日経テレコン